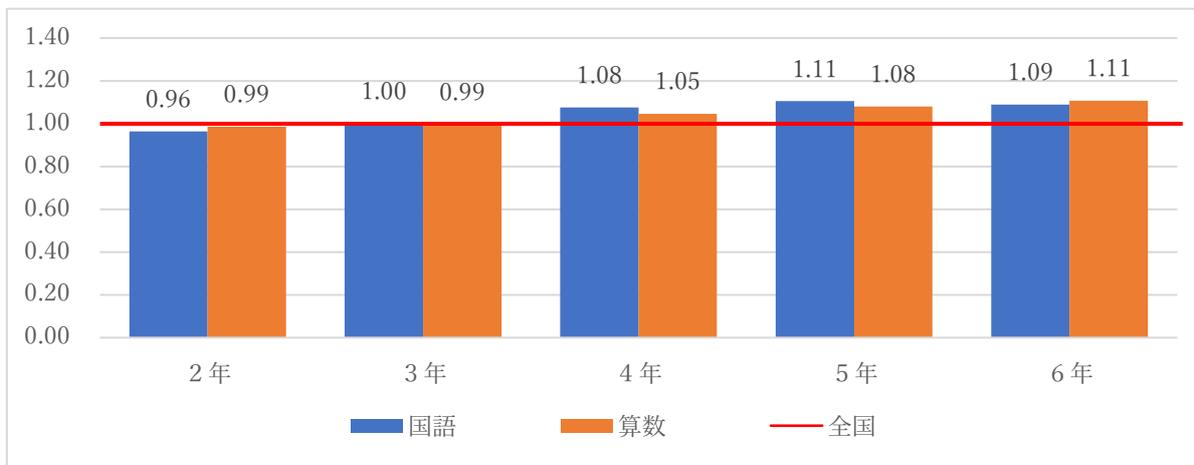


## 令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第六中学校区 第五小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	説明文や物語文の内容を読み取る内容において、良い結果であった。引き続き、文法に関する知識理解や決まりに従って文章を書く活動の充実を図っていく。
	算数	小数・分数・計算の決まりなどの「数と計算」領域や割合などの「変化と関係」領域において、良い結果であった。引き続き、面積の知識・技能に関する学習等、「図形」領域の定着を図っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	言葉の特徴や使い方に関する知識・技能において良い結果であった。「書くこと」について、さらに力をつけていくために、読み取ったことや、考えたことをまとめて書く活動を充実させていく。
	算数	「数と計算」「データの活用」領域、また記述式の問題において全国平均を大きく上回っている。割合や二つの数量関係に関する問題への理解を深めていく。
	質問紙	「学校に行くのは楽しい」の質問では全国平均を上回っている。それと比較して「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」の質問への肯定的回答が低い。自己肯定感を高めることのできる活動を充実させていく。

○学力向上の取組

### 【 中学校区 】

各種調査の結果を踏まえ、小中連携会議において課題の共有と対応策の構築を図っている。また、中学校教師による小学校への出前授業など、中学校区3校で連携した取組を行い、引き続き、小中学校の学習体制の段差を解消し、小中一貫教育の強化を図っていく。

### 【 学 校 】

少人数指導や教科担任制、学年副担任制の充実を図る等、個に応じた丁寧な指導に努めている。タブレット等のICT機器の活用、ディベート学習などを通じて、自らの考えを深め、活発に交流をする授業を行い「考える力」の育成を図る。